

(参考資料 2)

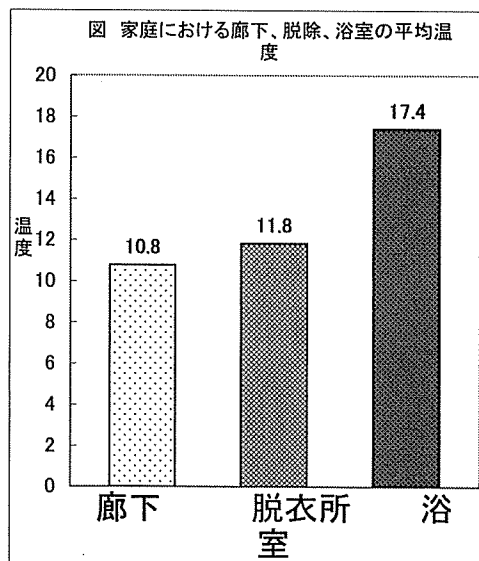
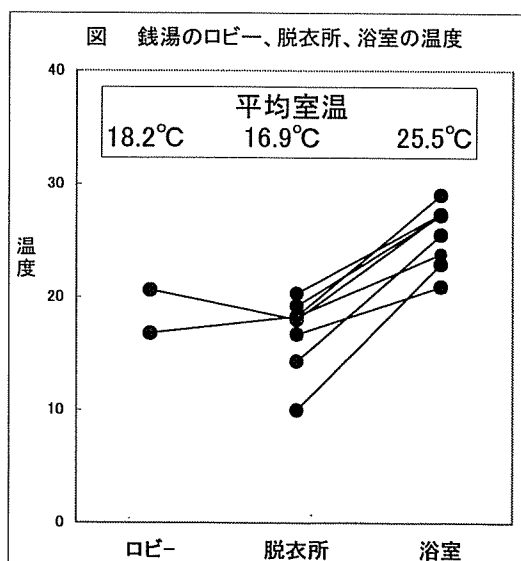
公衆浴場のマナー

1	酒に酔ってのご入浴はお断りします
2	お年寄りと幼児には付き添いをお願いします
3	伝染病・皮膚病の方の利用はお断りします
4	ロッカー・下駄箱の「かぎ」はなくさないご注意ください、また持ち帰らないでください
5	浴槽に入る前に身体を洗い流しましょう
6	浴槽内ではタオル・石けんなどを使わないでください
7	湯水の出し放しはやめましょう
8	カランは必ず手で押しましょう
9	回りの人に湯水がかからないようにしましょう
10	毛染め・洗濯はお断りします
11	洗い場よりあがるときは身体をよくおふきください
12	他のお客様に迷惑をかける方のご利用はお断りします

(参考資料 3)

平成17年12月から平成18年2月において、某県内の銭湯のロビー、脱衣所、浴室の温度を調査した。また、同時期に、一般家庭の廊下、脱衣所、浴室の温度を調査した。

その結果、銭湯の浴室温度の平均は、25.5℃であり、一般家庭では、17.4度であり、銭湯の平均湯温は42度であり、最高は44度、最低は41度であり、一般家庭では、40.5±1.4℃であった。



公衆浴場の習慣的利用者と住民の健康状況や地域への関心・密着度の比較研究

—第二報・平成18年度に行った2回目の調査結果—

松原 勇 石川県立看護大学・教授（情報統計学）

関根道和 富山大学・医学部・助教授（保健医学）

研究要旨

本稿では公衆浴場の習慣的利用者と同一地域の住民に健康状況と地域への感心といったことがらに差異があるかどうかを明らかにするために、22の公衆浴場の習慣的利用者及びその公衆浴場が所在する町内の住民の同じ性別と年齢階級の者、各1584人づつを対象に行われた。その結果、公衆浴場の習慣的利用者1507名（回答率95.1%）と同一地域の一般住民1517人（回答率95.7%）から回答を得た。これらの2群の比較結果から公衆浴場の習慣的利用者の方が一般住民に比べて健康状況・地域への関心といったことがらを比較した。

その結果、公衆浴場利用群の方が健康的であることならびに地域への関心・密着度も高いことが示された。以上の結果から、公衆浴場の利用が地域住民の健康増進や地域へ関心・密着度の向上に寄与していることがうかがわれ、公衆浴場のさらなる利用の促進の政策が有用であると思われた。

A. 目的

近年、一般家庭にお風呂の無い家がほとんど無いことから、公衆浴場の減少がみられるが、公衆浴場は単に清潔な身体状況を作るだけでなく、住民の交流の場としての役割も大きく、地域住民の健康状況・地域への関心・密着度といったことがらに寄与していることが推察される。そこで、本稿では公衆浴場の習慣的利用者と同一地域の住民に生活習慣・健康状況・社会参加といったことがらに差異があるかどうかを多人数を対象とした調査を行い、その結果を統計分析結果から公衆浴場の利用が健康増進に寄与するかどうかを明らかにすることを目的にした。

B. 対象と方法

対象は富山県公衆浴場業生活衛生事業組合の理事が経営する富山県内の22の公衆浴場の習慣的利用者（少なくとも2～3年前からのなじみのお客さん）とその公衆浴場の所在する町内の一般住民で、一箇所につき20～39歳、40～59歳、60～80歳の男女12名ずつで一箇所当たり72名、計1584名ずつである。

公衆浴場の習慣的利用者は富山県公衆浴場業生活衛生事業組合の理事会で調査方法の説明会を実施して、調査用紙も富山県公衆浴場業生活衛生事業組合をとおして集めた。

一般住民は公衆浴場の所在する町内の町内会長に依頼して、各町内会長に直接調査

方法の説明を行い、富山大学・医学部に集めた。

その結果、公衆浴場の習慣的利用者 1507 名（回答率 95.1%）と同じ地域の一般住民 1517 名（回答率 95.7%）から回答を得た。

また、前回の平成 17 年度の調査で健康状況についての同様の調査を行っているので、その調査との一致性も検証した。さらに、追跡調査が実施できるように公衆浴場の習慣的利用者については各公衆浴場で配布した方々の名簿に整理番号を付けて保存し、各町内会では町内会長の方が配布した方々の名簿に整理番号を付けて保存した。すなわち調査用紙自体は分析をする富山大学・医学部にあるが名簿は大学には無く各公衆浴場及び町内会長が持つことにより、個人情報保護を守ることにした。この追跡調査方法については富山医科薬科大学医学部

（現在：富山大学・医学部）の倫理委員会で承認を得た。

分析は、今回は 2 群が同じ性・年齢階級の分布を対象としたので全体で公衆浴場の習慣的利用者と一般住民の間で回答分布の差の有無についてカイ 2 乗検定で有意確率を計算した。

C. 結果

以下に今回の調査結果を公衆浴場の習慣的利用者と一般住民の 2 群間の比較を列挙する。なお表中の回答分布は全て回答人数（有効回答を母数としたパーセンテージ）、及び表の左下には有意確率を記載した。また、平成 17 年度に同様の調査項目がある場合は、それも記して、調査結果が一致しているか確認した。

表 1. この 1 年間の通院（平成 17 年度調査）

	公衆浴場習慣的利用者	一般住民
1. かかっていない	524 人 (31.7%)	468 人 (28.9%)
2. 10 日程度	766 人 (46.3%)	818 人 (50.6%)
3. 月に 3～4 日	246 人 (14.9%)	244 人 (15.1%)
4. 週に 2～3 日	62 人 (3.6%)	34 人 (2.1%)
5. それ以上	56 人 (3.4%)	53 人 (3.3%)

$P < 0.1$

表 2. この 1 年間の通院（平成 18 年度調査）

	公衆浴場習慣的利用者	一般住民
1. かかっていない	510 人 (35.4%)	436 人 (30.3%)
2. 10 日程度	622 人 (43.2%)	744 人 (51.6%)
3. 月に 3～4 日	217 人 (15.1%)	185 人 (12.8%)
4. 週に 2～3 日	52 人 (3.6%)	42 人 (2.9%)
5. それ以上	38 人 (2.5%)	34 人 (2.4%)
6. 入院した	57 人 (3.9%)	54 人 (3.7%)

P<0.05

表3. この1年間の仕事を休んだ状況 (平成17年度調査)

	公衆浴場習慣的利用者	一般住民
1. 休んでいない	1187人 (71.5%)	1151人 (70.4%)
2. 1~3日	306人 (18.4%)	308人 (18.8%)
3. 4~6日	53人 (3.1%)	90人 (5.5%)
4. 7~13日	46人 (2.8%)	32人 (2.0%)
5. 14日以上	68人 (4.1%)	54人 (3.3%)

N.S.

表4. この1年間の仕事を休んだ状況 (平成18年度調査)

	公衆浴場習慣的利用者	一般住民
1. 休んでいない	1057人 (71.5%)	993人 (68.0%)
2. 1~3日	259人 (17.5%)	294人 (18.8%)
3. 4~6日	68人 (4.6%)	76人 (5.2%)
4. 7~13日	40人 (2.7%)	37人 (2.5%)
5. 14日以上	54人 (3.7%)	60人 (4.1%)

P<0.2

表5. この1ヶ月の健康状況 (平成17年度調査)

	公衆浴場習慣的利用者	一般住民
1. 最高にいい	88人 (5.2%)	63人 (3.9%)
2. とても良い	994人 (60.5%)	874人 (60.7%)
3. あまり良くない	538人 (37.2%)	545人 (34.0%)
4. ぜんぜん良くない	25人 (1.5%)	23人 (1.4%)

N.S.

表6. この1ヶ月の健康状況 (平成18年度調査)

	公衆浴場習慣的利用者	一般住民
1. 最高にいい	83人 (5.6%)	61人 (4.1%)
2. とても良い	911人 (60.9%)	872人 (59.0%)
3. あまり良くない	482人 (32.2%)	522人 (35.3%)
4. ぜんぜん良くない	19人 (1.3%)	24人 (1.6%)

N.S.

表7. この1ヶ月の歩行や階段の昇降の支障（平成17年度調査）

	公衆浴場習慣的利用者	一般住民
1. ぜんぜん無かった	1042人 (63.3%)	1141人 (70.7%)
2. わずかにあった	494人 (30.0%)	389人 (24.1%)
3. かなりあった	101人 (6.1%)	74人 (4.6%)
4. できなかった	8人 (0.5%)	10人 (0.6%)

N. S.

表8. この1ヶ月の歩行や階段の昇降の支障（平成18年度調査）

	公衆浴場習慣的利用者	一般住民
1. ぜんぜん無かった	917人 (60.9%)	983人 (65.8%)
2. わずかにあった	487人 (32.2%)	420人 (28.1%)
3. かなりあった	97人 (6.4%)	86人 (5.8%)
4. できなかった	5人 (0.3%)	4人 (0.3%)

N. S.

表9. この1ヶ月の仕事や家事の支障（平成17年調査）

	公衆浴場習慣的利用者	一般住民
1. ぜんぜん無かった	1000人 (60.9%)	1024人 (63.6%)
2. わずかにあった	494人 (34.4%)	526人 (32.7%)
3. かなりあった	101人 (4.0%)	52人 (3.2%)
4. できなかった	8人 (0.7%)	8人 (0.5%)

N. S.

表10. この1ヶ月の仕事や家事の支障（平成18年調査）

	公衆浴場習慣的利用者	一般住民
1. ぜんぜん無かった	836人 (55.7%)	871人 (58.5%)
2. わずかにあった	583人 (38.4%)	537人 (36.0%)
3. かなりあった	74人 (4.9%)	74人 (5.0%)
4. できなかった	7人 (0.5%)	8人 (0.5%)

N. S.

表 11. この1ヶ月の体の痛み（平成17年度調査）

	公衆浴場習慣的利用者	一般住民
1. なかった	619人 (37.5%)	639人 (39.5%)
2. かすか	481人 (29.1%)	480人 (29.7%)
3. 軽い	456人 (27.6%)	400人 (24.7%)
4. 強い	82人 (5.0%)	84人 (5.2%)
5. 非常に激しい痛み	13人 (0.8%)	14人 (0.9%)

N. S.

表 12. この1ヶ月の体の痛み（平成18年度調査）

	公衆浴場習慣的利用者	一般住民
1. なかった	510人 (33.7%)	514人 (35.0%)
2. かすか	495人 (32.7%)	453人 (30.9%)
3. 軽い	403人 (26.7%)	382人 (26.0%)
4. 強い	83人 (5.5%)	102人 (6.9%)
5. 非常に激しい痛み	16人 (1.1%)	17人 (1.2%)

N. S.

表 13. この1年間に事故以外の骨折の経験（平成17年度調査）

	公衆浴場習慣的利用者	一般住民
1. あり	80人 (5.5%)	88人 (5.5%)
2. なし	1544人 (94.5%)	1522人 (94.5%)

N. S.

表 14. この1年間に事故以外の骨折の経験（平成18年度調査）

	公衆浴場習慣的利用者	一般住民
1. あり	35人 (2.4%)	25人 (1.7%)
2. なし	1423人 (97.6%)	1417人 (93.9%)

N. S.

以降はすべて18年度調査（17年度の調査項目には無いもの）の地域への意識の調査項目（7段階で回答：実際の調査用紙は

本報告書の次の報告の付録を参照）。

なお、7段階での回答なので平均値は正確な代表値ではないが参考のため記した。

表 15. 私はこの地域の一部であるように感じている

	公衆浴場習慣的利用者	一般住民
1. 非常に感じる	257 人 (17.3%)	172 人 (11.7%)
2.	208 人 (14.0%)	190 人 (12.9%)
3.	226 人 (15.2%)	236 人 (16.1%)
4. 普通	618 人 (41.5%)	665 人 (45.2%)
5.	74 人 (5.0%)	100 人 (6.8%)
6.	65 人 (4.4%)	61 人 (4.1%)
7. 全く感じない	40 人 (2.7%)	46 人 (3.1%)
参考：平均値 (標準偏差)	3.27 (1.48)	3.47 (1.40)

P<0.05

表 16. 破壊行為と落書きは、この近所で一つの大きな問題です

	公衆浴場習慣的利用者	一般住民
1. 非常に問題だ	395 人 (27.7%)	256 人 (17.9%)
2.	110 人 (7.7%)	86 人 (6.0%)
3.	83 人 (5.5%)	79 人 (5.2%)
4. 普通	262 人 (18.4%)	263 人 (17.4%)
5.	84 人 (5.9%)	93 人 (6.5%)
6.	137 人 (9.6%)	187 人 (13.1%)
7. 全く問題ない	354 人 (24.8%)	465 人 (32.5%)
参考：平均値 (標準偏差)	3.95 (2.35)	4.59 (2.25)

P<0.01

表 17. この近所の大部分の人々は信頼できます

	公衆浴場習慣的利用者	一般住民
1. 非常に信頼できる	181 人 (12.2%)	126 人 (8.6%)
2.	243 人 (16.4%)	255 人 (17.3%)
3.	260 人 (17.6%)	301 人 (20.5%)
4. 普通	666 人 (45.0%)	665 人 (45.2%)
5.	70 人 (4.7%)	71 人 (4.8%)
6.	48 人 (3.2%)	41 人 (2.8%)
7. 全く信用できない	13 人 (0.9%)	12 人 (0.8%)
参考：平均値 (標準偏差)	3.27 (1.29)	3.32 (1.20)

P<0.05

表 18. この近所では、暗くなってからの一人歩きを怖がります

	公衆浴場習慣的利用者	一般住民
1. 非常に怖がる	82 人 (5.6%)	46 人 (3.2%)
2.	133 人 (9.0%)	99 人 (6.8%)
3.	170 人 (11.5%)	160 人 (11.0%)
4. 普通	598 人 (40.6%)	627 人 (42.9%)
5.	128 人 (8.5%)	162 人 (11.1%)
6.	162 人 (10.7%)	196 人 (13.4%)
7. 全く怖がらない	201 人 (13.3%)	170 人 (11.6%)
参考：平均値 (標準偏差)	4.25 (1.63)	4.39 (1.49)

N. S.

表 19. この近所は、極めて清潔に保たれています

	公衆浴場習慣的利用者	一般住民
1. 非常に保たれている	151 人 (10.2%)	125 人 (8.5%)
2.	258 人 (17.4%)	264 人 (18.0%)
3.	226 人 (15.2%)	277 人 (18.8%)
4. 普通	713 人 (48.1%)	660 人 (44.9%)
5.	84 人 (5.7%)	89 人 (6.1%)
6.	38 人 (2.5%)	46 人 (3.1%)
7. 全く保たれていない	12 人 (0.8%)	9 人 (0.6%)
参考：平均値 (標準偏差)	3.33 (1.24)	3.34 (1.22)

N. S.

表 20. 困った状態を、この近所では沢山の人が助けてくれる

	公衆浴場習慣的利用者	一般住民
1. 非常に助けてくれる	189 人 (12.7%)	133 人 (9.1%)
2.	201 人 (13.6%)	191 人 (12.7%)
3.	213 人 (14.4%)	233 人 (15.9%)
4. 普通	659 人 (44.4%)	699 人 (47.6%)
5.	100 人 (6.6%)	110 人 (7.5%)
6.	87 人 (5.8%)	81 人 (5.5%)
7. 全く助けてくれない	34 人 (2.3%)	20 人 (1.4%)
参考：平均値 (標準偏差)	3.46 (1.43)	3.54 (1.30)

N. S.

表 21. この地域では、沢山の空家や見捨てられた家屋。お店がある

	公衆浴場習慣的利用者	一般住民
1. 非常にある	110 人 (7.5%)	83 人 (5.7%)
2.	129 人 (8.8%)	137 人 (9.4%)
3.	189 人 (12.9%)	188 人 (12.9%)
4. 普通	471 人 (32.0%)	435 人 (29.7%)
5.	157 人 (10.7%)	176 人 (12.0%)
6.	199 人 (13.5%)	263 人 (18.0%)
7. 全くない	215 人 (14.6%)	181 人 (12.4%)
参考：平均値 (標準偏差)	4.29 (1.74)	4.37 (1.68)

N. S.

表 1～2 から公衆浴場習慣的利用者群の方がわずかに健康であることが示唆されたが、表 3～14 の他の項目では 2 回の調査とも健康状況には大きさ差異は無かった。

同様に、表 15～17 の結果では公衆浴場習慣的利用者群の方が地域への関心・密着度が高い項目があることがうかがわれた。

D. 考察

今回の調査でも、名簿の作成が「個人情報保護」という理由で行われなかった公衆浴場が約 20%、町内会が約 30% あった。これらの対象者についての追跡調査は不可能であるので、調査用紙や調査の協力者に調査状況の「聞き取り」を行い、セレクションバイアスの無かったという地区を再度抽出して分析をおこない、そのデータをベースラインデータとして追跡調査を実施する必要性がうかがわれたが、対象地区が 22 箇所で一地区 72 名であるために、総対象人数が 3000 人以上という調査であるので、信頼できるデータだけを抽出して対象者が半

減しても、なお 2000 人近い対象者がいるので、追跡調査は可能と考えられた。

さらに、一般住民の中での公衆浴場利用群と非利用群の比較では表 1～2 から公衆浴場習慣的利用者群の方がわずかに健康であることが示唆されたが、表 3～14 の他の項目では 2 回の調査とも健康状況には大きさ差異は無かった。

同様に、表 15～17 の結果では公衆浴場習慣的利用者群の方が地域への関心・密着度が高い項目があることがうかがわれたことなどから、公衆浴場の利用が地域住民の健康に寄与していることを示す結果であった。

E. まとめ

今回の公衆浴場の習慣的利用者及び地域住民を対象とした調査では一般住民の中での公衆浴場利用群と非利用群の比較ではわずかながらはあるが、公衆浴場利用群の方が健康状態がわずかながらすぐれていることが示され、地域への関心・密着度も高い傾向

がうかがわれた。これらのことから公衆浴場の利用が地域住民の健康・福祉増進につながっていると考えられ、公衆浴場のさらなる利用促進をすすめることが公衆衛生上も意義のあることと推測された。

今後は、平成17年の調査をベースラインとした追跡調査により、公衆浴場が生活習慣・健康状況・社会参加といったことへの変容に寄与しているかどうかをさらに追跡研究により明らかにしたと考えている。

参 考 文 献

1. 鏡森定信、関根道和、梶田悦子、松原勇、大村栄：わが国における筋骨格系症状の療養に関する需要と供給の検討、日本温泉気候物理医学会誌、第64巻第2号、p.103-112、2001.
2. 田村耕成、倉林均、久保田一雄：温泉浴の凝固調節因子に及ぼす影響、日本温泉気候物理医学会誌、第64巻第3号、p.141-144、2001.
3. 光延文裕、他10名：気管支喘息及び肺気腫に対する温泉療法、日本温泉気候物理医学会誌、第64巻第3号、p.182-190、2001
4. シンポジウム「QOLからみた温泉療法・気候療法・物理療法のエビデンス」、日本温泉気候物理医学会誌、第65巻第1号、p.15-23、2001.
5. 鏡森定信、他8名：海洋深層水温浴効果の心理・生理学的指標による検討、日本温泉物理医学会誌、第65巻第2号、p.73-82、2002.
6. 延永正、片桐進、久保田一雄：QOLからみた短期温泉療養の効果－全国調査より－、日本温泉気候物理医学会誌、第65巻第3号、p.15-23、2001.
7. シンポジウム「温泉を利用した健康増進及び疾患予防」、第67回日本温泉気候物理医学会総会口演要旨、p.30-35、2002.
8. 美和千壽、杉村公也、川村陽一、出口晃、岩

瀬敏：40℃入浴時の循環動態と体温調節機能の変化における加齢の影響、日本温泉気候物理医学会誌、第65巻第4号、p.187-193、2002.

9. 日本温泉気候物理医学会編。温泉医学（教育研修会講義録）。p.162-164, p.181-182, 日本温泉気候物理医学会、東京、1990.

10. 清水富弘監修。アクアスポーツ科学。p80-86, 科学新聞社、東京、1997.

11. 樋口 満。成人女性の骨の健康に対する運動と栄養の影響。牛乳栄養学術研究会、第16回国際学術フォーラム報告書。p.36-57, (社)全国牛乳普及協会。東京、2002.

12. Montoye HJ, Metzger HL, Keller JB. Habitual activity and blood pressure. Med Sci Sports, Vol. 4, p. 175-181, 1972.

13. 鏡森定信、中谷芳美、梶田悦子、他3名。温泉利用とWHO生活の質－温泉利用の健康影響に対する交絡要因としての検討－。日本温泉気候物理医学会誌第67巻第1号、p.71-78、2004.

14. 松原勇、鏡森定信：温泉の利用頻度と健康状態の分析、石川看護雑誌、第2巻、p.53-57、2005.

15. 松原勇、鏡森定信：プログラム化された温泉運動浴コースの長期効果に関する事例・対象研究、石川看護雑誌、第3巻第1号、p.53-57、2005.

16. 松原勇、鏡森定信：休養目的での温浴施設滞在と健康状態との関係の統計的研究、石川看護雑誌、第3巻第2号、p.45-50、2006.

F. 危険情報

特になし

G. 学会発表

1. 鏡森、松原、金山、関根：公衆浴場利用者の健康状態に関する疫学的調査、第71回日本温泉気候物理医学会総会誌、p.31、2006.5

2. 松原勇、鏡森定信：公衆浴場の習慣的利

用者と一般住民の生活習慣・健康状況等の事例・対照研究、第 65 回日本公衆衛生学会総会抄録集、p.426, 2006.10

3. 孫迎春、松井、松原、鏡森：入浴の効果と事故に関する調査、富山県公衆衛生

学会抄録集、p.10, 2007.2

H. 知的所有権の出願・登録状況
特になし

生活習慣と健康の調査(浴場利用者用)

公衆浴場の番号() 対象者の番号()

該当する性・年齢に○をつけてください。

性別	男・女	年齢	20代・30代・40代・50代・60代・70代
----	-----	----	-------------------------

当てはまるものに○をつけ、()内には適当な数値や文字を記入してください。

問1 この1年間に、どのくらい、医者にかかりましたか(通院)。

1. かかっていない
2. 年に10日程度
3. 月に3~4日程度
4. 週に2~3日程度
5. それ以上
6. 入院した

問2 この1年間に、病気で仕事を休んだり、床についたりしましたか。

1. なかった
2. 1~3日
3. 4~6日
4. 7~13日
5. 14日以上

過去1ヶ月の体や気持ちの具合を思い起こしてお答えください。

問3 過去1ヶ月間のあなたの健康状態はいかがでしたか。

1. 最高に良い
2. とても良い
3. あまり良くない
4. ぜんぜん良くない

問4 過去1ヶ月間に、歩いたり階段の上り下りに、支障がありましたか。

1. ぜんぜんなかった
2. わずかにあった
3. かなりあった
4. できなかった

問5 過去1ヶ月間に、いつもの仕事や家事に、体の具合のせいで支障がありましたか。

1. ぜんぜんなかった
2. わずかにあった
3. かなりあった
4. できなかった

問6 過去1ヶ月間に、体の痛みはどのくらいありましたか。

1. なかった
2. かすか
3. 軽い
4. 強い
5. 非常に激しい痛み

問 7 公衆浴場にどれくらいきますか。

1. ほとんど毎日 2. 週に1回以上 3. 月に1~2回

* () 年前から行っている。

4. あまり行かない 5. ほとんど行ったことがない

問 8 行く公衆浴場は、だいたい決まっていますか。

1. ほとんど同じところ 2. 特に決めていない

* そこへ行くときは主になんで行きますか。1. 歩き 2. 自転車 3. 車 ; その時間 () 分

問 9 この1年間につまずいたり、ころんだり等、ささいな理由で骨折したことがありますか
(交通事故や屋根から落ちるなどの事故での骨折は省きます)。

1. はい 2. いいえ

→ () 回 ; それはお風呂に入ったり、行くときでしたか (はい・いいえ)
どこの骨を折りましたか…… () の骨

問 10 以下の組み合わせのどちらの方が公衆浴場は役立っていると思いますか。そう思う方に○をして下さい。

記入例 ; 1. (○) 疲れがとれる ----- () よく眠れる

1. () 肩こり・腰痛・関節痛などいい ----- () さっぱりする
2. () よく眠れる ----- () 疲れがとれる
3. () さっぱりする ----- () 疲れがとれる
4. () 疲れがとれる ----- () 肌にいい
5. () さっぱりする ----- () 肌にいい
6. () 肩こり・腰痛・関節痛などいい ----- () よく眠れる
7. () さっぱりする ----- () よく眠れる
8. () 肩こり・腰痛・関節痛などいい ----- () 肌にいい
9. () よく眠れる ----- () 肌にいい
10. () 肩こり・腰痛・関節痛などいい ----- () 疲れがとれる

問 11 健康と福祉の面から公衆浴場はどちらの方が役に立っていると思いますか。

1. () 顔見知りになれる ----- () 外に出て体を動かす機会になる
2. () 外に出て体を動かす機会になる ----- () 入浴そのものの効果
3. () 顔見知りになれる ----- () 入浴そのものの効果

問12 公衆浴場が健康と福祉の面で役に立つために必要と思うものの番号に○をして下さい。

1. 体重計 2. 血圧計 3. 肥満度や体脂肪が測定できる機器
 4. マッサージ機器 5. 筋力アップ用機器 6. 室内運動機器(自転車や動く人工坂)
 7. 休憩室 8. 談話室や集会室 9. 飲食用の部屋や食堂 10. 宿泊施設

問13 以下の組み合わせで公衆浴場が役に立っていると思う方に○をしてください。

問10と同じ組み合わせですが順番を入れ替えて聞いています。このような質問を繰り返すことによって、より正確な答えになります。問10で応えたことを忘れてお答えください。

1. () 疲れがとれる ----- () 肩こり・腰痛・関節痛などにいい
 2. () 肌にいい ----- () よく眠れる
 3. () さっぱりする ----- () 肩こり・腰痛・関節痛などにいい
 4. () よく眠れる ----- () さっぱりする
 5. () よく眠れる ----- () 肩こり・腰痛・関節痛などにいい
 6. () 肌にいい ----- () さっぱりする
 7. () 肌にいい ----- () 疲れがとれる
 8. () 疲れがとれる ----- () さっぱりする
 9. () 疲れがとれる ----- () よく眠れる
 10. () 肌にいい ----- () 肩こり・腰痛・関節痛などにいい

問14 健康と福祉の面から浴場はどちらの方が役に立っていると思いますか。

問11と同じ組み合わせですが順番を入れ替えて聞いています。このような質問を繰り返すことによって、より正確な答えになります。問11で応えたことを忘れてお答えください。

1. () 入浴そのものの効果 ----- () 顔見知りになれる
 2. () 入浴そのものの効果 ----- () 外に出て体を動かす機会になる
 3. () 外に出て体を動かす機会になる ----- () 顔見知りになれる

問15 あなたの家からだいたい1.5 km 以内または歩いて20分程度の地域をどのように感じておられますか？1から7までのうちあなたの感じ方を最もよく表している番号に一つだけ○をつけてください。

【 例 】 この近所の大部分の人々は信頼できます。

1	2	③	4	5	6	7
(非常に信頼できる)		(普通)			(まったく信用できない)	

1) わたしは、本当に心からこの地域の一部であるように感じています。

1	2	3	4	5	6	7
(非常に感じる)	(普通)					(まったく感じない)

2) 破壊行為と落書きは、この近所で一つの大きな問題です。

1	2	3	4	5	6	7
(非常に問題だ)	(普通)					(まったく問題ない)

3) この近所の大部分の人々は信頼できます。

1	2	3	4	5	6	7
(非常に信頼できる)	(普通)					(まったく信用できない)

4) この近所では、人々は暗くなってからの一人歩きを怖がります。

1	2	3	4	5	6	7
(非常に怖がる)	(普通)					(まったく怖がらない)

5) この近所は、極めて清潔に保たれています。

1	2	3	4	5	6	7
(非常に保たれている)	(普通)					(まったく保たれていない)

6) もしもあなたが困った状態にあるのならば、この近所では沢山の人があなたを助けてくれるでしょう。

1	2	3	4	5	6	7
(とても助けてくれる)	(普通)					(まったく助けてくれない)

7) この地域では、沢山の空家や見捨てられた家屋、お店があります。

1	2	3	4	5	6	7
(非常にある)	(普通)					(まったくない)

生活習慣と健康の調査(町内会用)

町内会番号() 対象者の番号()

該当する性・年齢に○をつけてください。

性別	男・女	年齢	20代・30代・40代・50代・60代・70代
----	-----	----	-------------------------

当てはまるものに○をつけ、()内には適当な数値や文字を記入してください。

問1 一人で外出できますか。

1. できる 2. 付き添いや車椅子などがあれば外出できる 3. できない

問2 この1年間に、どのくらい、医者にかかりましたか(通院)。

1. かかっていない 2. 年に10日程度 3. 月に3~4日程度
4. 週に2~3日程度 5. それ以上 6. 入院した

問3 この1年間に、病気で仕事を休んだり、床についたりしましたか。

1. なかった 2. 1~3日 3. 4~6日 4. 7~13日 5. 14日以上

過去1ヶ月の体や気持ちの具合を思い起こしてお答えください。

問4 過去1ヶ月間のあなたの健康状態はいかがでしたか。

1. 最高に良い 2. とても良い 3. あまり良くない 4. ぜんぜん良くない

問5 過去1ヶ月間に、歩いたり階段の上り下りに、支障がありましたか。

1. ぜんぜんなかった 2. わずかにあった 3. かなりあった 4. できなかった

問6 過去1ヶ月間に、いつもの仕事や家事に、体の具合のせいで支障がありましたか。

1. ぜんぜんなかった 2. わずかにあった 3. かなりあった 4. できなかった

問7 過去1ヶ月間に、体の痛みはどのくらいありましたか。

1. なかった 2. かすか 3. 軽い 4. 強い 5. 非常に激しい痛み

問8 公衆浴場にどれくらいいきますか。

1. ほとんど毎日 2. 週に1回以上 3. 月に1~2回

* () 年前から行っている。

4. あまり行かない 5. ほとんど行ったことがない

問9 行く公衆浴場は、だいたい決まっていますか。

1. ほとんど同じところ 2. 特に決めていない

* そこへ行くときは主になんで行きますか。1. 歩き 2. 自転車 3. 車 ; その時間()分

問10 この1年間につまづいたり、ころんだり等、ささいな理由で骨折したことがありますか
(交通事故や屋根から落ちるなどの事故での骨折は省きます)。

1. はい 2. いいえ

→ (回) ; それはお風呂に入ったり、行くときでしたか (はい・いいえ)
どこの骨を折りましたか……()の骨

問11 以下の組み合わせのどちらの方が公衆浴場は役立っていると思いますか。そう思う方に○をして下さい。

記入例 ; 1. (○)疲れがとれる ————— ()よく眠れる

1. ()肩こり・腰痛・関節痛などいい ————— ()さっぱりする
2. ()よく眠れる ————— ()疲れがとれる
3. ()さっぱりする ————— ()疲れがとれる
4. ()疲れがとれる ————— ()肌にいい
5. ()さっぱりする ————— ()肌にいい
6. ()肩こり・腰痛・関節痛などいい ————— ()よく眠れる
7. ()さっぱりする ————— ()よく眠れる
8. ()肩こり・腰痛・関節痛などいい ————— ()肌にいい
9. ()よく眠れる ————— ()肌にいい
10. ()肩こり・腰痛・関節痛などいい ————— ()疲れがとれる

問12 健康と福祉の面から公衆浴場はどちらの方が役に立っていると思いますか。

1. ()顔見知りになれる ————— ()外に出て体を動かす機会になる
2. ()外に出て体を動かす機会になる ————— ()入浴そのものの効果
3. ()顔見知りになれる ————— ()入浴そのものの効果

問13 公衆浴場が健康と福祉の面で役に立つために必要と思うものの番号に○をして下さい。

1. 体重計 2. 血圧計 3. 肥満度や体脂肪が測定できる機器
 4. マッサージ機器 5. 筋力アップ用機器 6. 室内運動機器(自転車や動く人工坂)
 7. 休憩室 8. 談話室や集会室 9. 飲食用の部屋や食堂 10. 宿泊施設

問14 以下の組み合わせで公衆浴場が役に立っていると思う方に○をしてください。

問11と同じ組み合わせですが順番を入れ替えて聞いています。このような質問を繰り返すことによって、より正確な答えになります。問11で応えたことを忘れてお答えください。

1. () 疲れがとれる ----- () 肩こり・腰痛・関節痛などにいい
 2. () 肌にいい ----- () よく眠れる
 3. () さっぱりする ----- () 肩こり・腰痛・関節痛などにいい
 4. () よく眠れる ----- () さっぱりする
 5. () よく眠れる ----- () 肩こり・腰痛・関節痛などにいい
 6. () 肌にいい ----- () さっぱりする
 7. () 肌にいい ----- () 疲れがとれる
 8. () 疲れがとれる ----- () さっぱりする
 9. () 疲れがとれる ----- () よく眠れる
 10. () 肌にいい ----- () 肩こり・腰痛・関節痛などにいい

問15 健康と福祉の面から浴場はどちらの方が役に立っていると思いますか。

問12と同じ組み合わせですが順番を入れ替えて聞いています。このような質問を繰り返すことによって、より正確な答えになります。問12で応えたことを忘れてお答えください。

1. () 入浴そのものの効果 ----- () 顔見知りになれる
 2. () 入浴そのものの効果 ----- () 外に出て体を動かす機会になる
 3. () 外に出て体を動かす機会になる ----- () 顔見知りになれる

問16 あなたの家からだいたい1.5 km 以内または歩いて20分程度の地域をどのように感じておられますか？1から7までのうちあなたの感じ方を最もよく表している番号に一つだけ○をつけてください。

【 例 】 この近所の大部分の人々は信頼できます。

1	2	③	4	5	6	7
(非常に信頼できる)		(普通)			(まったく信用できない)	

1) わたしは、本当に心からこの地域の一部であるように感じています。

1	2	3	4	5	6	7
(非常に感じる)	(普通)					(まったく感じない)

2) 破壊行為と落書きは、この近所で一つの大きな問題です。

1	2	3	4	5	6	7
(非常に問題だ)	(普通)					(まったく問題ない)

3) この近所の大部分の人々は信頼できます。

1	2	3	4	5	6	7
(非常に信頼できる)	(普通)					(まったく信用できない)

4) この近所では、人々は暗くなってからの一人歩きを怖がります。

1	2	3	4	5	6	7
(非常に怖がる)	(普通)					(まったく怖がらない)

5) この近所は、極めて清潔に保たれています。

1	2	3	4	5	6	7
(非常に保たれている)	(普通)					(まったく保たれていない)

6) もしもあなたが困った状態にあるのならば、この近所では沢山の人があなたを助けてくれるでしょう。

1	2	3	4	5	6	7
(とても助けてくれる)	(普通)					(まったく助けてくれない)

7) この地域では、沢山の空家や見捨てられた家屋、お店があります。

1	2	3	4	5	6	7
(非常にある)	(普通)					(まったくない)

公衆浴場が健康づくりで果たす役割に関する疫学調査

—公衆浴場の習慣的利用者と一般住民及び公衆浴場経営者に対する調査結果—

松原 勇 石川県立看護大学・教授（情報統計学）

立瀬剛志 富山大学・医学部・助手（保健医学）

研究要旨

本調査研究では公衆浴場に求められる役割などについて、公衆浴場の習慣的利用者と同一地域の住民及び公衆浴場経営者に一対比較法などを用いた調査を行い、公衆浴場に求められる健康づくりに関わる事項を明らかにすることを目的にして、平成18年10月下旬に調査用紙を配布、12月上旬に回収する調査を22の公衆浴場で（対象者数1584名）実施して1507名（回答率95.1%）及び同じ地域の22の町内の一般住民に対して（対象者数1584名）実施して1517名；回答率95.7%）から回答を得た。また、同様の内容の調査は公衆浴場の経営者には富山県内の公衆浴場業生活衛生組合に加盟している公衆浴場の経営者にも行い、60名から回答を得た。

その結果、公衆浴場の習慣的利用者、対照ともに、公衆浴場入浴による「さっぱり感」（70%以上）、「疲れがとれる」と「肩こりにいい」（50%以上）を効果としてあげ、「よく眠れる」では、利用者で50%に達しないのに対照では過半数があげた。「肌にいい」は両者とも20%程度であった。また「外出の機会になる」と「顔見知りになれる」は利用者でそれぞれ40%程度で、対照と比較して「外出の機会になる」では差異はなく「顔見知りになれる」では対照の20~30%に比較して高かった。経営者では、「疲れがとれる」と「肩こりにいい」（それぞれ70%程度）を多くあげ、「さっぱり感」と「よく眠れる」は過半数程度、「肌にいい」は10%程度であった。また、「顔見知りになれる」は過半数で「外に出る機会になる」（30%）を上回った。

以上、公衆浴場は健康面からその利用が支持されていることに加えて、人と人の交流の場としての意義の大きいことが確認された。

なお、公衆浴場での健康づくりに関わる要望として、利用者と対照者では「体脂肪計」（40%）浴場主では、それに加えて「マッサージ器」（80%）と入浴料や浴場運営費への公的補助（70~80%）が目立った。

A. 目的

近年、公衆浴場の減少がみられるが、公衆浴場は単に清潔な身体状況を作るだけでなく、住民の交流の場としての役割も大き

く、地域住民の生活習慣・健康状況・社会参加といったことがらに寄与していることが推察される。本稿では公衆浴場に求められる役割などについて、公衆浴場の習慣的